

留学体験談

国際関係学科3年の鈴木孝志さん(荻野スカラシップ奨学生)が、2021年10月～2022年9月の11カ月間、ドイツのデュースブルク・エッセン大学(UDE)に留学中です。



シンデレラ城や多くの映画でのモデルになったノイシュヴァンシュタイン城。写真の一步先は崖っぷちで、生と死の狭間から見えるお城は超絶景。

留学先を選んだ理由は？

高校世界史でドイツに興味を持ち、兼修語学でドイツ語をやっていたこともあり、ドイツを留学先に決めました。

以前UDEから神戸市外大に留学に来ていた留學生ともドイツで再会することができました。

留学してどんな変化がありますか？

海外での初めての一人暮らしで、友達や人との繋がりをより強く感じるようになりました。図書館で一緒に勉強したり、ご飯を一緒に作ったりカフェに行ったり、何気なく過ごす友達との時間が一番好きです。それに、お米と日本語がなくても僕は海外で生きていけそうです。



Movie Parkにて、UDEで私をサポートしてくれる学生とそのクラスメートと。ハロウィンナイトは仮装した人たちがやばくてまさしく映画の雰囲気です。



手前からSchweinshaxe, Brotknödel, Käsespätzle、バイエルン地方の伝統的な料理。ノイシュヴァンシュタイン城を背景に食べるお昼は最高に美味しい...

コロナはどうですか？

11月に感染者数が急増して、建物に入る際のチェックはだいぶ厳しくなりました。しかしそれ以外でコロナに対する危機感は日常ではあまり感じません。みんなワクチンさえ打ってればという感じです。近く3回目の接種に行く予定です。

夢・目標は？

ドイツは学生へのサポートが手厚いので、卒業後は再び修士号取得に戻りたいと思います。色々な国の人達と関わることができる仕事をし、たくさん休暇をとって世界中を旅行したいです。

後輩にメッセージをお願いします。

選んだ国や大学がどこであろうとも、そこでの出会いや経験は一生の宝物になり、これからの人生に大きく良い影響を与えてくれるはずですよ。楽観主義でどんどん突き進んでください。まだ知らない世界がたくさんあります。

留学先機関名：ドイツ デュースブルク・エッセン大学
(University of Duisburg-Essen)

留学期間：2021年10月～2022年9月(11ヶ月間)

留学先の大学のよいところ

UDEの魅力は東アジアを中心に勉強する学部があり、沢山の学生が日本に興味を持っているので仲良くなりやすいところです。また理系の学部も強く、世界中の国から学生が集まる国際的な大学です。



友達の誕生日パーティー：たくさんのネイティブの方々と交流できる機会なのでドイツ語を練習するにはもってこいの場所。みんなの日本語も上手です。

駅近くのモニュメント、BE KOBEみたい(笑)日本からの留學生は主にデュースブルクのキャンパスで授業を受けます。

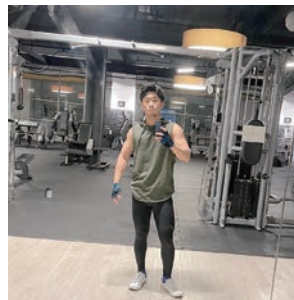
英語？ドイツ語？

出発まではドイツ語にあまり力を入れておらず、英語が話せれば何とかなるだろうと思っていました。実際に英語だけでも生活できます。しかしドイツ人の友達とドイツ語で話せるようになりたいと段々思うようになり、今では毎日勉強しています。



残りの留学生活で何かしたいことはありますか？

現地での生活にも慣れてきたので、そろそろ筋トレ以外にも趣味を見つきたいです。休暇や週末を使ってたくさん旅行にも行くつもりです。冬明けが楽しみです！



ジム：月たったの€20(¥2,600)。マッチョな人達ともドイツ語でコミュニケーション。筋トレは万国共通です。



ケルン大聖堂とクリスマスマーケット：幻想的すぎてしばらく言葉が出ませんでした。



UNESCO世界遺産Zollvereinでアイススケート、現地の人みんな上手い！



11月から街はクリスマス一色に。個人的にスノードームが一番クリスマスっぽくて好きです。



ドルトムントのクリスマスマーケット：実際の木々で組み合わせたツリーとしては世界最大だそうです。